



## 在日ブラジル人コミュニティにおける継承語教育やアイデンティティを育む支援および移民劇を通じた多文化理解促進事業

### 事業分野 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業

#### ■実施団体

(団体名) Projeto Sementinha

(所在地) 静岡県浜松市

[Facebookページ](#)

■事業期間 2024年12月～2025年11月

■対象国・地域 日本・静岡

#### ■事業目標

・ブラジルにルーツを持つ子どもたちが親との円滑なコミュニケーションとアイデンティティの確立を通じて、日本社会で自信を持って活躍できるようになること。

・学生ボランティアや日本人観覧者が日系ブラジル人との交流や移民劇への参加を通じて相互理解を深めること、ひいては地域で互いが共生するためのリーダーとなる人材の育成に貢献すること。

#### ■事業内容

・ブラジルにルーツを持つ子どもを対象としたポルトガル語教室および保護者向け日本語教室の開催

・日本とブラジルの移民の歴史を伝える移民劇の開催

#### ■事業実施の背景

ポルトガル語が第一言語の親と、成長するにつれて学校など家庭外で日本語を多く使うようになる子どもたちの間で、コミュニケーションが難しくなる問題がある。また、日系ブラジル人の中には移民のルーツや歴史を知らない世代が増えており、歴史の継承と日本社会における理解促進の必要性が高まっている。

#### 団体のこれまでの取り組み

「自分のルーツを誇りに思いながら、子どもたちが日本社会で生き生きと暮らしてほしい」という思いから、2018年に団体を設立し、継承語としてのポルトガル語教育や移民劇を行う。令和5年度「はままつ多文化共生活動表彰」を受賞。Sementinha(セメンチーニャ)はポルトガル語で「小さい種」という意味。

#### 事業実施の工夫点・成果

- ・子ども向けに、日本の昔話を題材にポルトガル語教室を実施。ブラジル風にアレンジ(例: 桃太郎→マンガー太郎)するなど楽しみながら学べる工夫を加えた。
- ・学生ボランティアの参加を促し、将来を担うリーダーとなる人材の育成に貢献した。



保護者と日本語や日本文化を学ぶ



移民劇の一コマ。  
演者やその家族のエピソードが基になっている。